

情報機器を正しく使おう
－犯罪に巻き込まれないために－

開倫塾
塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。連日、東京で一人暮らしをしていた女子大生が、男性に殺害されて、茨城県の神栖市で遺体になって発見されたという事件が報道されています。今日は、その事件について、皆さんと一緒に少し考えてみたいと思います。
2. 私は大学生のときに犯罪学を少し勉強しましたので、どのように考えたらよいか自分なりにまとめてみました。一番大事なことは、ラジオやテレビ、新聞などの報道で事件の概要について自分なりによく調べ、どのような経緯で事件が発生したのかを知ることです。特に、犯罪の原因となること、つまり、なぜそういうことが起きたのかを知ることが、市民として大事だと思います。
3. ところで、犯罪には加害者と被害者がいます。私が大学で勉強したのは、被害者学です。慶應義塾大学に宮澤浩一という先生がいらっしゃって、その先生のもとで日本の被害者学、つまり被害者の特性や被害に遭わないようにするにはどうしたらよいかという勉強を少しさせていただきました。一番問題なのは、加害者です。加害者（罪を犯した人）が、なぜ罪を犯すに至ったのかということを勉強することが大事です。一方で、被害者がどのように犯罪に巻き込まれたかということも勉強することも大事だと思います。私たちは、栃木放送をはじめとするラジオやテレビ、新聞を通してそれを知るわけですが、それらの与えられた情報をもとに冷静に分析することが大事であると思います。その上で、同じような犯罪が二度と起こらないように、社会も個人も努力することが大事だと思います。
4. そこで、少し気になったことがありますので、それについてお話をさせていただきます。皆さんもお気づきだと思いますが、最近はパソコンだけではなく、スマホやタブレットなどいろいろな情報機器があります。それらの中に、出会い系サイトというものがあります。今回の事件があったので、私も出会い系サイトとはどんなものかと見てみました。すると、こんなにあるのかわかっていうくらい、驚くべき出会い系サイトがたくさんありました。そんなにたくさんは見ませんでしたが、パソコンで検索すると切りがないほど出てきます。中には健全なものもたくさんあるでしょうが、危険性をはらむものもあるようです。ですから、危険なサイトにはアクセスしないことが大事です。

5. 出張授業などでいくつかの中学校や高校に行きますと、最近の中学生や高校生は学校にスマホなどを持ち込んでいます。おそらく大学では制限なしに持ち込まれていて、手からスマホを離せないという状況になっている方もたくさんいらっしゃるようです。具体的には、1日中スマホをいじっていて、ラインやゲームに興じている方がたくさんいるのを見たり聞いたりしています。
- 学習塾は勉強をするところですので、通常はもちろん、試験の前、特に今は県立高校の入試直前ですので、そのようなことをされたら大変です。そこで、預かったり、一切見えないところに置かせたり、塾に持ってこないように言ったりして、厳重に管理させていただいています。
6. ただ、学校や家庭ではスマホを1日中いじって、ラインやゲームに興じている方がたくさんいらっしゃるということは、私も知っています。とりわけ大学生は時間が自由ですから、特にそんな方が多いのかなと思います。また、社会人も同様です。私は東京によく行って電車に乗るのですが、目の前に座っている方が全員スマホをいじっている光景を目にします。満員電車の中でもスマホをいじっている方がたくさんいて、いじっていない方は例外というくらい、子どもも大人もスマホに興じています。
7. 確かにスマホを利用すると、面白いことがいろいろあります。もしかしたら、その中の1つが出会い系サイトかもしれません。ただ、このような事件も起こるのですから、犯罪学を勉強したものとしては、スマホなどは必要なときだけ利用していただき、危険なサイト、危険をはらむような出会い系サイトなどには近づかないようお願いしたいと思います。
8. 2月2日の経済新聞で、ネット犯罪に詳しいジャーナリストの井上トシユキさんが、ネットでは簡単に素性を偽装できる、悪意の有無を見抜くことはなかなか難しいので、見知らぬ他人と出会うのと同じくらいの認識が必要だと語っておられました。それほど慎重さが必要であるというご意見だと、私の大賛成です。
9. また、探偵事務所の相沢京子さんのホームページを見ると、出会い系サイトはあらゆる犯罪の温床なので、興味本位で利用するのはやめましょう。万が一会う場合でも1対1で会うのだけはやめて、いくら相手を取りたがっても、こちらの本名や電話番号、住所などは絶対に教えてはいけません。メールアドレスも絶対に教えてはいけません。お子さんに携帯電話やパソコンを与えている場合は、定期的にメールの内容を確認する旨を約束しておきましょう。法律まで作られていることを例に、出会い系サイトがいかに怖いものであるかをしっかりと理解させましょう。うちの子に限ってというようなことは通用しませんという忠告が出ています。
10. 以上のことを含めて、お子さんにはスマホやタブレットなどの正しい利用の仕方を教育していただきたいと思います。また、放送をお聴きの皆さんも危険なサイトに近づかないように、くれぐれもお願いいたします。